

# 地域連携に基づいた キーパーソンリーダー育成事業の構築

## 山口東京理科大学 ～地域のキーパソン育成～

山口東京理科大学  
事務部長 佐々木 有朋  
2010.12.3

### 1. 大学の概要



山口東京理科大学

#### ■ 学部・学科別入学定員と教職員の構成 2010.5.1現在

##### 【教員】

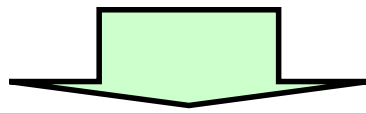
学部・研究科名	学科・専攻名	入学定員	教員数
工学部	機械工学科	60名	8名
	電気工学科	60名	9名
	応用化学科	80名	13名
	一般基礎	-	7名
	小計	200名	37名
基礎工学研究科	基礎工学専攻	18名	-
	合計	218名	37名

##### 【職員】

専任職員	18名
パート職員(学生含む)	18名



建学の精神：【理学の普及をもって国運発展の基礎となす】



教育理念

- ・世界的視野で物事を思考できる人間性豊かな科学技術者の育成
- ・波及効果の期待できる独創的・先進的研究の推進
- ・教育・研究と地域貢献が一本化した生涯学習の充実

教育方針



GPの目的：地域産業界のキーパーソン育成



地域社会の活性化



大学院（高度専門職の人材育成）

豊かな人間形成と技術者育成

4年 卒業研究

3年 専門教育  
自由に専門分野を選択

2年 専門基礎教育  
専門教育導入学習

1年 基幹基礎教育  
数・物・化の基礎

専門知識修得

基礎学力育成

■ 「大学教育・学生支援推進事業」

「地域連携に基づいたキーパーソンリーダー育成事業の構築」

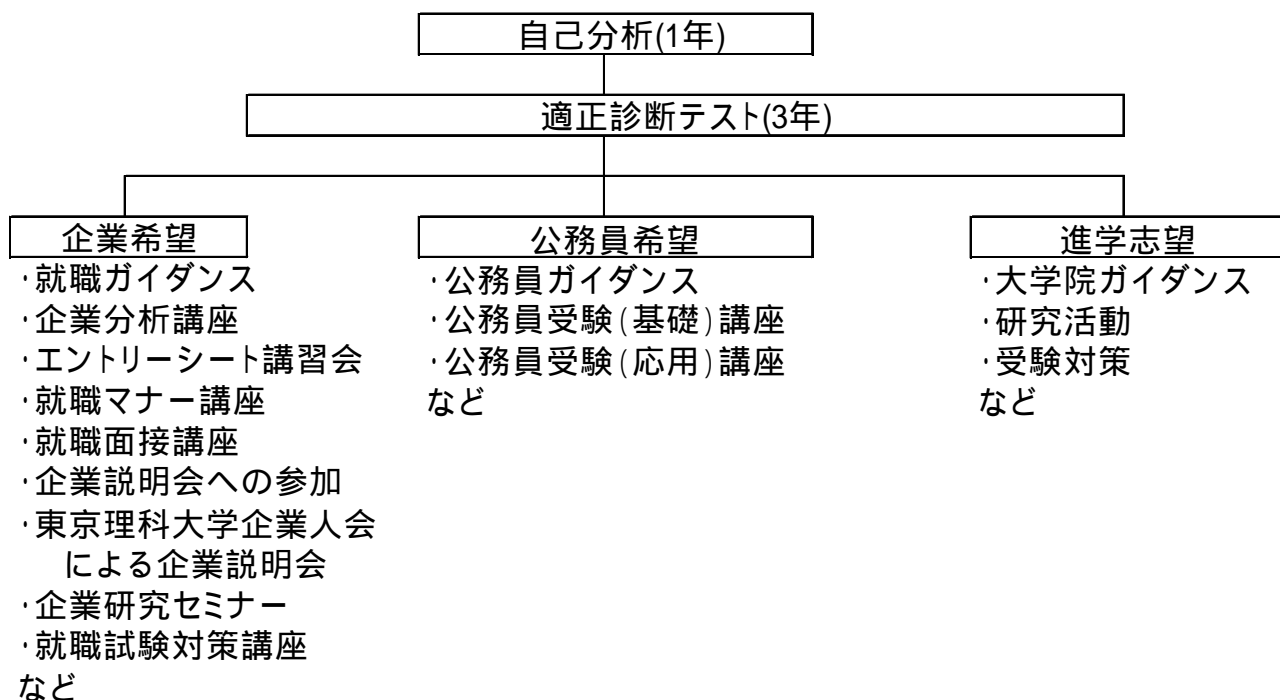
【目標】

- ・就職決定者に占める山口県内企業への就職者UP
- ・就職支援体制の構築による就職率UP

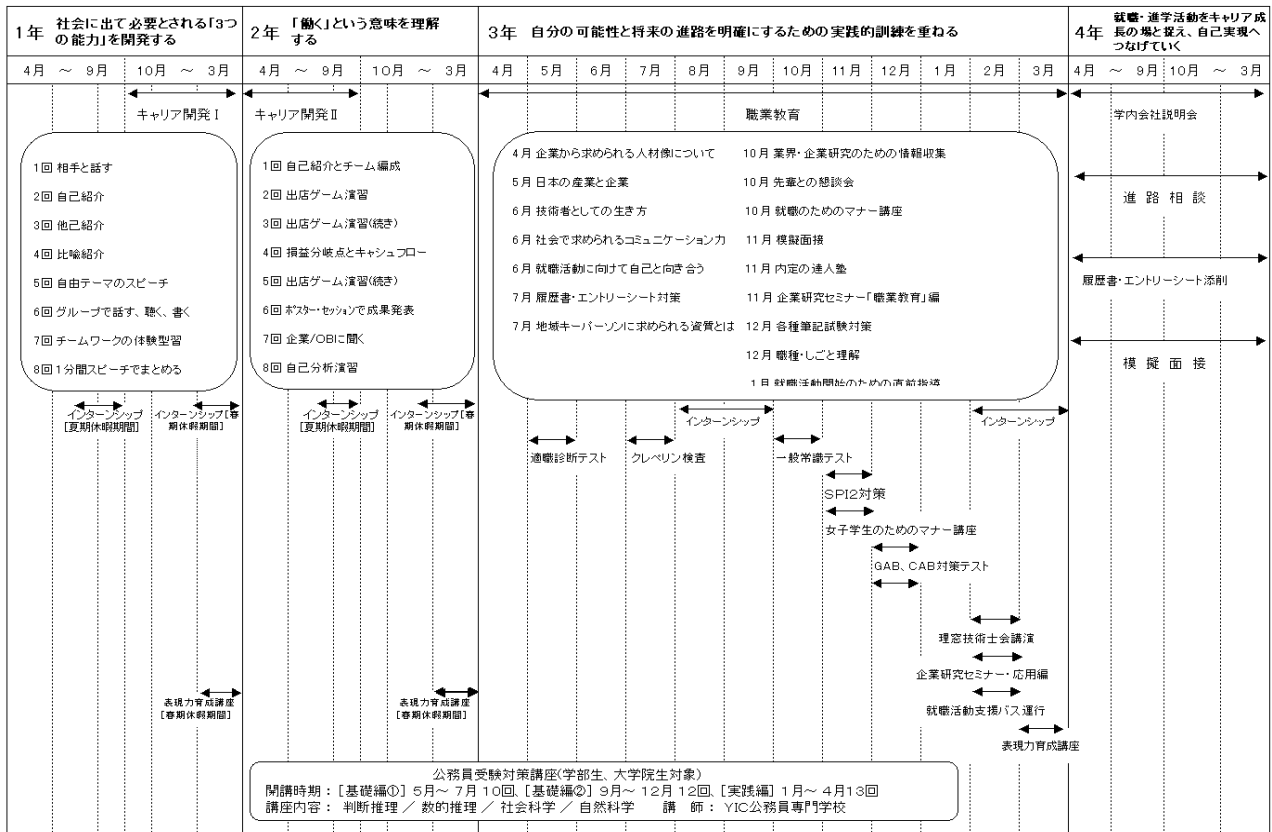
【対策】

- ・キャリア教育の充実
- ・自立支援、求人管理システム導入による学生支援体制の構築
- ・地域社会とのネットワークの強化

■ キャリア教育図



## 2.GP事業の取り組み(キャリア支援プログラム)



## 2.GP事業の取り組み(段階的キャリア開発)東京理科大学

### キャリア開発 (学部1年生 選択科目)

目的：『社会で求める能力を開発する』

目標：社会に必要な「対人関係能力」を育成  
 積極的にチャレンジし、自分で考えて行動する自律人間の育成  
 学生生活で取り組んでいく課題を明確化へ

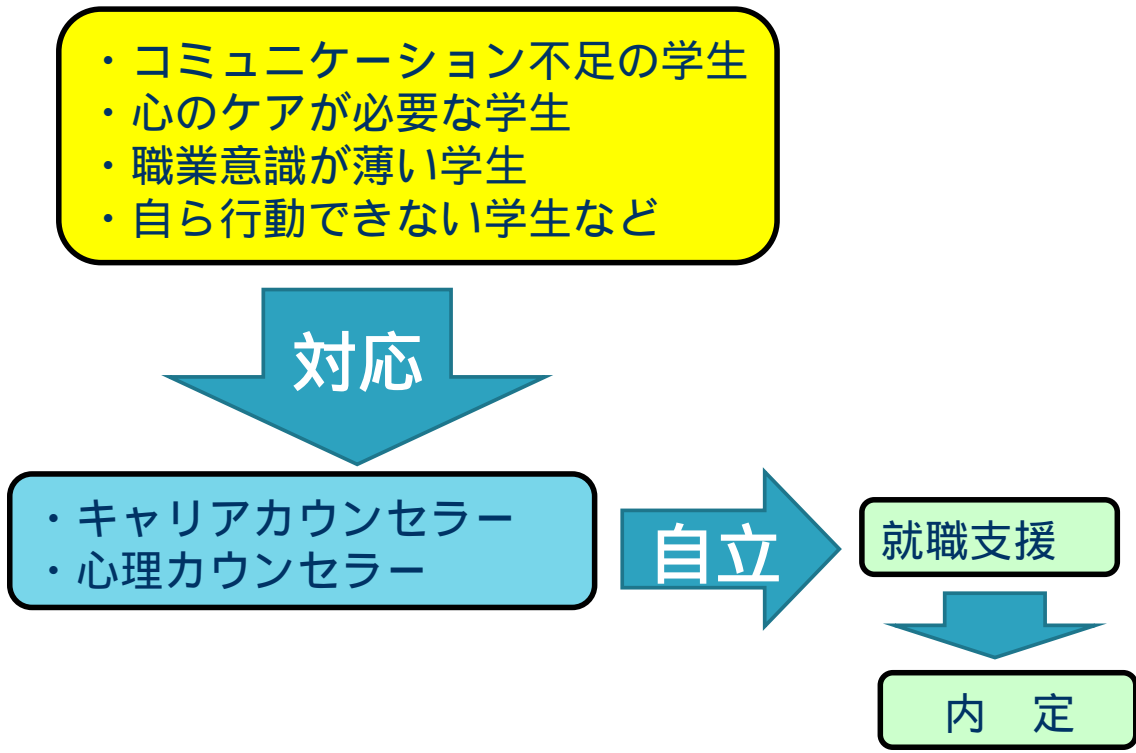


### キャリア開発 (学部2年生 選択科目)

目的：『「働く」という意味を理解する』

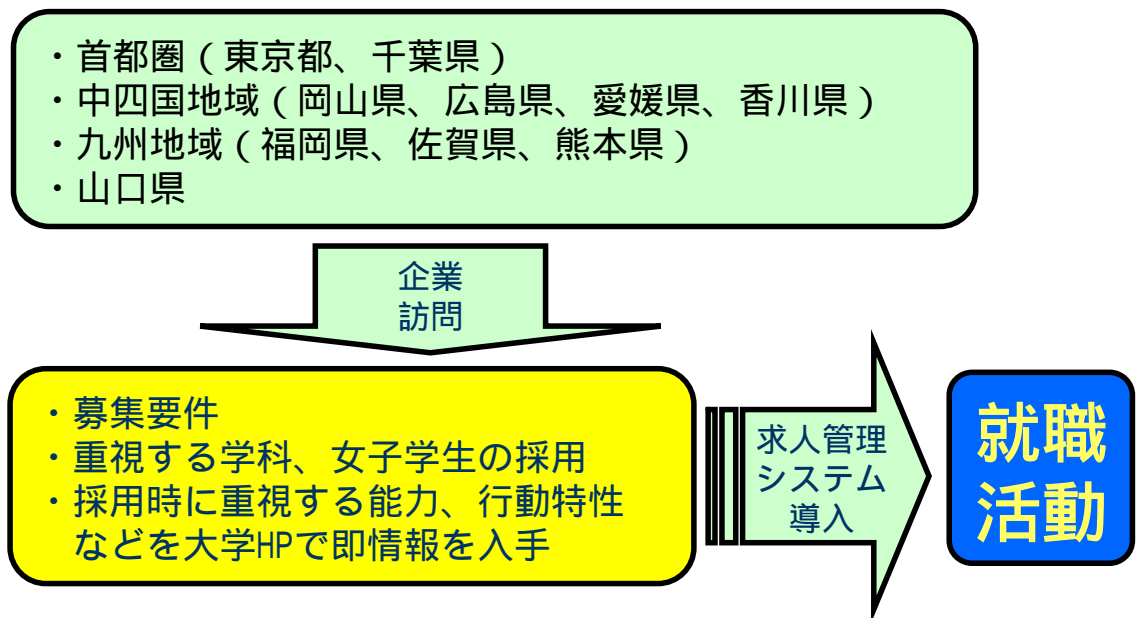
目標：生涯の仕事について早い段階から考える力  
 広い視点で自分を知る力  
 将来設計を明確化する力

### ■ 自立支援プログラムの構築



### ■ 企業訪問と連動した求人管理システム

#### 学生の出身地域を意識した企業開拓



## 2.GP事業の取り組み（地域社会とのネットワーク）

### ■ 地域社会とのネットワーク

- ・ 山陽小野田市内の主要企業
- ・ 山口県経営者協会
- ・ 山口県若者就職支援センター
- ・ 島根県石見地区  
（4市：益田市、浜田市、江津市、大田市）

連携

- ・ 就職支援
- ・ 地元産業界トップによる講演会
- ・ 工場見学
- ・ 研究成果の報告会
- ・ インターンシップ

## 2.GP事業取り組み（地域社会とのネットワーク）

### ■ 地域産業界への教育・研究活動報告

場 所：小野田商工会議所

参加者：行政、企業関係者

高校、商工会議所

内 容

- ・ 教育・研究活動報告
- ・ 地元企業と連携した人材育成
- ・ 市民への貢献プラン など



白井 博文 市長



塚本学長

地域産業界が求める人材や能力  
を継続的に調査

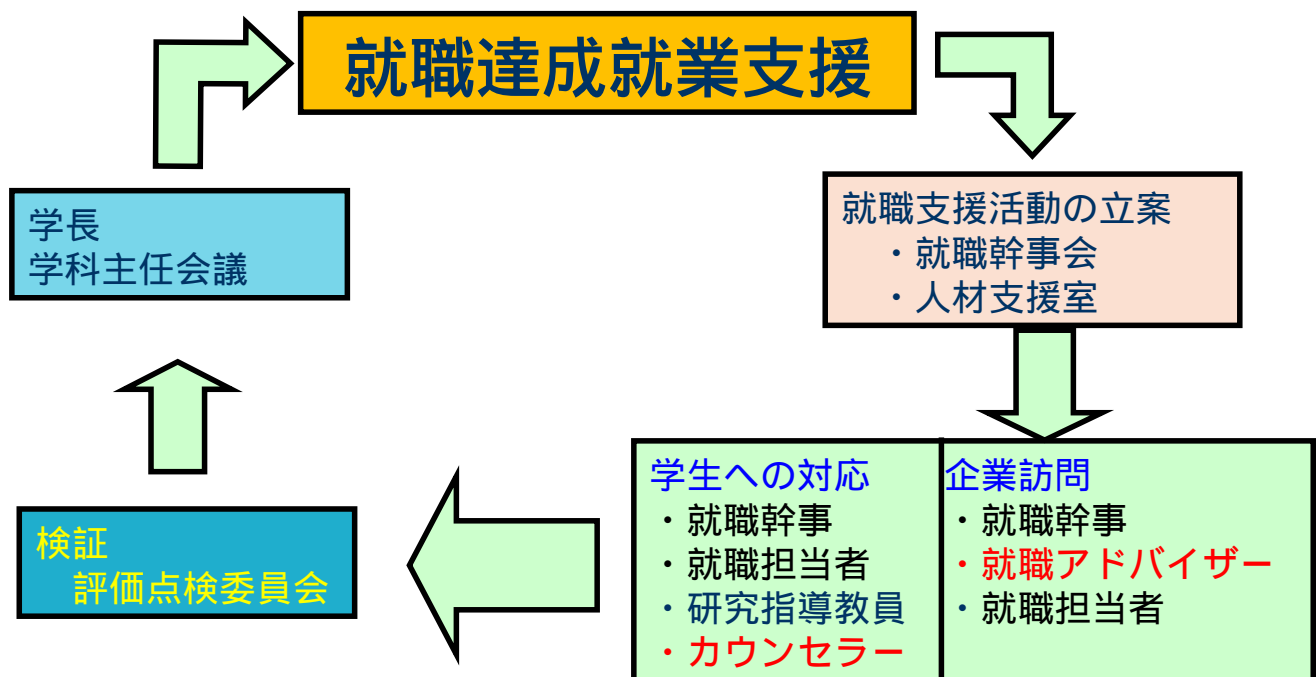


大学の教育・研究にフィードバック



教育・研究活動報告

■ 教職協働による就職支援体制



■ 進路実績

就職率 90.0% (2010年3月)

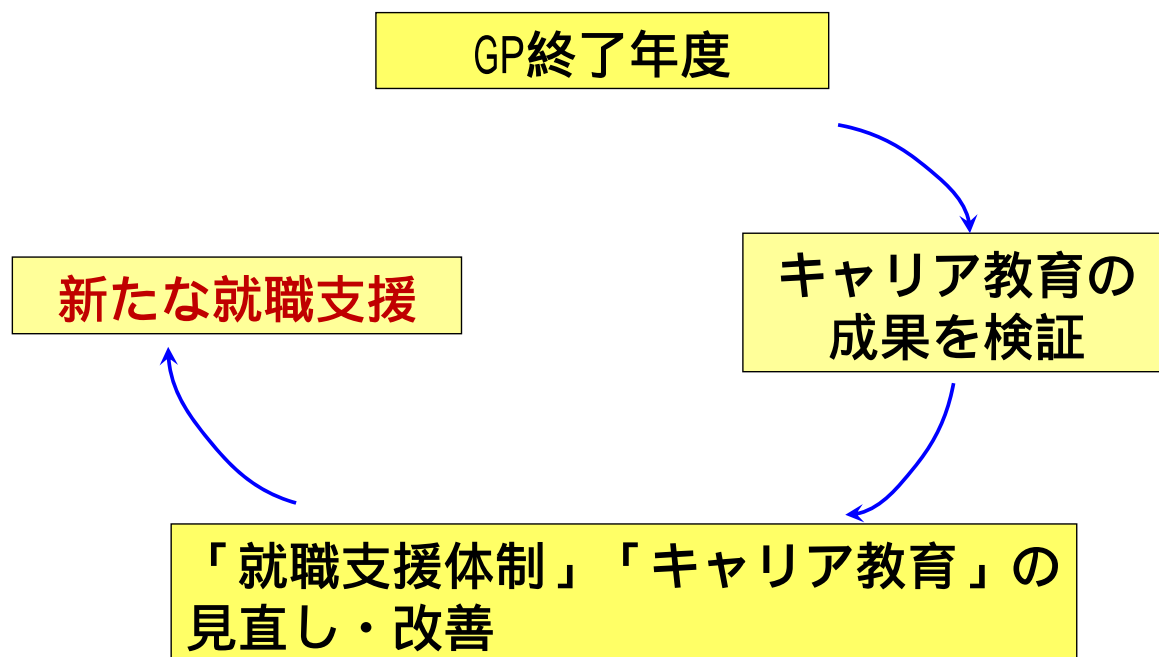
【山口県出身者就職状況】

- ・山口県内 43.9% (前年度 26.7%)
- ・中国地方 19.0% (前年度 23.3%)
- ・首都圏 33.3% (前年度 46.7%)

首都圏就職希望者以外はほぼ全員が地元就職

卒業生の約3割が大学院へ進学

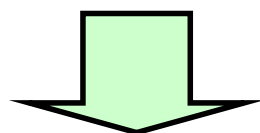
■ 新たな就職支援



GP: 大学生の就業力育成支援事業

テーマ: 「ものづくりから生み出すキャリア支援」

キーパーソン育成



- ・ 本物の技術者育成プロジェクト
- ・ ものづくり協働教育
- ・ キャリア教育プログラム
- ・ 就職支援体制の強化
- ・ 地域産業界との連携